



学校経営の4つのキーワード

④「ワーク・ライフ・バランス」

・「働き方改革」は「生き方改革」!

# 交通ルールを守るモン!



春の交通安全運動

5月12日、春の交通安全運動の一環として生活委員会の生徒が本校校門前で「てまえ運動」を呼びかけました。「てまえ運動」とは、歩行者と車の運転手が互いに手で合図をして横断歩道を安全に渡ろうという運動です。この日は、くまモンも生徒といっしょに手を上げて横断歩道を渡ってくれました。大津中では自転車事故が増えています。より一層の交通安全を心がけていきましょう!

## 体育大会、本番間近!

### 予行練習



5月17日、体育大会の予行練習を行いました。本年度のテーマは、「大津同心～We can be heroes!～」で、一人ひとりが主役となる体育大会を目指しています。伝統の「大声合戦」も今年は制限をなくし、全員が大きな声を出して取り組んでいます。大会当日の各団の工夫を凝らしたパフォーマンスにご期待ください。

なお、本年度は駐車場が確保できずご迷惑をおかけしますが、徒歩・自転車等での来校をどうぞよろしくお願いいたします。

## 勉強するのは何のため!?

本校の研究通信『大津まなぶ、そして変わる』に次のような話が掲載されていました。

本校職員がスタバでお茶をしていると、2人組の中学生(他校生)が現れ、黙々と学校の宿題をし始めたそうです。感心して見ていると、2人とも一生懸命答えを写しており、流れるように○を付けたら、時にはわざと間違えてみたり…。実は、このようなことは本校3年生の受験用テキストの提出の際も時々見られるそうです。



一生懸命、真面目に宿題の答えを写してくる。この問題は、「学び」というものの本質を考えるよい材料だと考えます。私が尊敬する苦野一徳先生(熊大・教育学者)は、勉強する意義を「自由の相互承認の感度を高め、その実践化を図ること」と述べています。簡単に言うと、「自分が生きたいように自由に生きられるため、そして、他者にも自分と同じように自由に生きる権利があることを理解するために学ぶ」のではないのでしょうか。もっと言えば、答えの丸写しでOKな課題ではなく、思考力や表現力を問う一人ひとりの答えが異なるような課題を考えていくことも大切だと考えます。